

校運営協議会の取り組みを充実させてまいりました。引き続き、各学校運営協議会の取り組みを充実させ、学校、家庭、地域が連携・協働して子どもの豊かな成長を支える、「地域とともにある学校づくり」を推進してまいります。

◆外国語教育

本町におきましては、英語教育を充実させるため、外国語指導助手・ALTを2名配置し、町内の幼稚園、各小・中学校に計画的に派遣することにより、幼児期からネイティブな英語に親しみ、国際感覚を身に付けるための取り組みを進めてまいりました。

小学校では、平成32年度から全面实施される新学習指導要領へ対応するために、平成30年度から小学3・4年生の「外国語活動」、小学5・6年生の「外国語科」を「移行措置」として先行実施しております。

さらに、平成30年度、神内小学校と成川小学校では、中学校の英語教員が定期的に小学校を訪問して授業支援を行うなど、小中学校が連携して外国語活動の充実に取り組みながら、小学校教員の英語の指導力向上に努めてまいります。

引き続き、小学校教員が主体的にALTを活用しながら授業を進める外国語活動の充実に向けて、小・中学校が連携した取り組みを進められるよう、支援をしてまいります。

◆道徳教育

また、「特別の教科道徳」につきましては、小学校は平成30年度から、中学校は平成31年度から、全面实施となります。

本町におきましては、小学校、中学校の道徳教育担当者等会議を開催し、「道徳年間指導計画」や「評価」の在り方について、町内で統一した指導が図られるよう研修を進めてまいりました。

今後、学習指導要領に示されているように、「多面的・多角的に深く考えたり、議論したりする道徳教育」を推進してまいります。

◆就学援助

経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童・生徒の保護者に支給しております「就学援助費」につきましては、引き続き入学前の3月に、対象となる児童・生徒へ「新入学児童生徒学用品費」を支給し、より援助の効果を高めてまいります。

◆スポーツの振興

高齢者まで、各世代が楽しみながら交流し、郷土・文化を学んでいく活動を展開するとともに、女性や子育て世代がボランティア活動に参加しやすい体制の充実を図り、一人ひとりが主役となって活躍できる生涯学習環境づくりを進めてまいります。

◆文化財の振興

文化財の振興につきましては、平成30年度に紀宝町大里区に位置する京城跡を地域振興に資する貴重な歴史的財産として適切に保存し、活用・整備を図るため、地元大里区役員、地権者、文化財調査委員等の関係者で組織する「京城跡保存・活用・整備検討委員会」が主体となって必要な調査や協議・検討を行い、「京城跡保存活用計画」の策定を行っております。



◆図書館整備事業

図書館整備事業につきましては、平成30年度当初に施設整備を平成32年度から計画的に実施していく旨をご説明しておりましたが、1年前倒しして、平成31年度から設計業務を実施してまいります。

現在の鶴殿図書館の位置は、小高い丘の中腹にあるうえ、交通アクセスが十分でなく、便利な場所に移転してほしいとの声も寄せられていることや、施設の老朽化が進むなどの諸課題を抱えております。

この課題を解決するためには、新たな施設を整備していく手法もありますが、財政負担の低減を図っていくには、既存の町有



大規模改修を行った鶴殿小学校

◆学校施設

学校施設等につきましては、平成30年度に「うどの幼稚園」「鶴殿小学校」の大規模改修工事を実施いたしました。施設の長寿命化や防災及び学習環境等の充実を図ることができました。

また現在は、小中学校での熱中症等の健康被害防止対策を推進すべく、普通教室等へ空調設備整備を進めております。

今後は、平成30年度内に本設計業務を完了させ、本定例会の補正予算で工事費の予算計上をさせていただき、平成31年度内の早期に工事を完了させ、教育環境のさらなる充実を図ってまいります。

また、老朽化が進んでいる矢



生涯学習

測中学校の大規模改修工事等につきましても、必要な調査研究を進めてまいります。

今後も、町内の学校施設を安全で安心な環境となるよう、計画的に推進してまいります。

◆生涯学習

生涯学習につきましては、「いつでもどこでも学べる教養豊かなまちづくり」を基本理念として、「まなびの郷」を拠点とした各種講座の開催をはじめ、「まなびの郷ボランティア」を中心に、世代を越えて交流できるイベントや講座を定期的に開催し、幅広く学習する機会の提供に努めてまいります。

今後も、小さなお子さまから

経済は、緩やかな回復が続いているとしております。

平成31年度の日本経済は、本年10月に消費税率の引き上げが予定されているなか、経済の回復基調が維持するよう国の当初予算において、臨時・特別の措置を講ずるなどの政策効果もあいまって、経済は雇用・所得環境の改善が続き、経済の好循環がさらに進展するなかで、内需を中心とした景気回復が見込まれていると分析し、平成31年度の予算編成が行われ、前年度比3・8%増の101兆4,571億円と、7年連続で過去最大を更新いたしました。

また、農林水産業をはじめとした地方創生、国土強靱化、女性の活躍、障がいや難病のある方の活躍、働き方改革、外国人材の受け入れなどの施策の推進により、経済の好循環をより確かなものとし、誰もが生きがいを持って充実した生活をおくることができると期待しております。

本町におきましては、国の動向に注意を払い、情報の収集を行いながら、予算の編成に取り組んでまいりました。

※予算については、次号発行の広報きほう5月号で紹介させていただきます。

◆予算編成

政府は、平成30年度の我が国の